



兵庫県生きがい創造協会経営ビジョン概要

I 経営ビジョン策定の趣旨

1. 経営ビジョン策定の必要性

- 少子高齢化やグローバル化など社会状況等が大きく変化する中、新たな事業環境への適切な対応が不可欠。
- ① 協会が今後果たすべき役割やコンセプトを明確化し、目指すべき将来像の実現方策を提示。
- ② 限られた人員や予算を効率的、重点的に配分した事業展開を進め、県民福祉の一層の向上を図る。

2. 経営ビジョンの性格と位置付け

- (1) 協会運営の羅針盤
協会運営の基本指針・協会事業の行動指針として策定。
- (2) 計画期間
団塊の世代が75歳以上となる2025年を展望し、2017年～2020年に取り組むべき具体的方策の方向性を提示。
- (3) 県政策との整合・市町等との役割分担
・兵庫県地域創生戦略などの県計画、指定管理施設の基準や業務の範囲など、県事業の方針との整合を図る。
・市町、NPO法人、企業等との役割分担を留意した事業展開。

II 協会の果たしてきた役割・成果

1 高齢者の生きがいづくり支援

- (1) 高齢者大学の運営とその拡大
- (2) 高齢者の広域的な交流・健康づくりの促進

2 地域を支える人材養成・地域づくり活動支援

- (1) 高齢者大学における地域貢献人材の養成
- (2) ふるさとひょうご創生塾の運営

3 次代を担う青少年の健全育成

- (1) 生きる力を育む体験教育の推進
- (2) ふるさと意識を醸成する青少年教育

4 県民自らが取り組む生涯学習活動の総合的支援

- (1) 生涯学習に関する情報・人材・活動の場の提供
- (2) 社会教育研修・調査研究
- (3) 生涯学習推進アドバイザーの派遣
- (4) 各種団体等との連携・ネットワーク化

5 地域文化の振興支援

- (1) 地域の特色を生かした文化・交流事業の実施
- (2) 地域文化団体の支援

III 生涯学習等を取り巻く事業環境の変化と課題

- 1 少子高齢・人口減少社会の到来に伴う高齢者の役割の変化
《支えられる側から支える側へ》
- 2 家族関係の希薄化・地域コミュニティの弱体化
- 3 高齢者の若返り、意識・ライフスタイルの変容
- 4 国・県等の動き [地域創生、主体的な学び など]
- 5 グローバル化の進展・異文化交流
- 6 技術の普遍化が進む高度情報社会の到来
- 7 地球環境に思いを馳せるライフスタイルへ

IV 協会が目指すべき将来像

- 事業環境が変化中、生涯学習こそが、心豊かで幸せに生き抜く上での最大のリスクヘッジの役割を果たし、新たなコミュニティ(セーフティネット)づくりや地域の活力を生み出す力に。
- 時間的、経済的な障壁や、身体的なハンディキャップを有する人を含め、すべての県民がよりよい生活を送るために必要な知識等を主体的に学習する機会を提供する先導的拠点となることが、協会への要請に。
- 元気高齢者等による要介護者等の支援や子どもたちの見守り、安心できる居場所づくりなどが求められる中、生涯学習で培った知識等の地域還元は、みんなで支え合う活力あるふるさと兵庫の実現に向けた大きな力に。

《協会の将来像》

県民の生涯にわたる学びを応援する先導拠点
～みんなで支え合う活力あるふるさと兵庫の実現～

・掲載事業数				
区分	新規	拡充	継続	計
テーマ1	4	8	33	45
テーマ2	4	13	19	36
テーマ3	4	2	12	18
テーマ4	3	8	20	31
テーマ5	5	1	35	41
テーマ6	4	7	17	28
計	24	39	136	199

V 協会の使命と取り組むべき事業のテーマ

みんなで支え合う活力あるふるさと兵庫の実現のためには、自己の学びを、他人のため、地域社会のために生かすことが生きがいになるよう、次の3点に重点を置いた事業展開を図る。

1 地域社会を支える学びの支援 ＜「育てる」学びを支援＞	テーマ1：生涯学習・地域づくり活動の総合的推進・支援 テーマ2：地域社会を支える高齢者の学びの支援 テーマ3：未来を担う青少年の育成
2 多様な交流・連携による学び・地域づくりの支援 ＜「つながる」学びを支援＞	テーマ4：生涯学習に関わる多様な主体との連携・交流 テーマ5：地域団体等の参画と協働による地域文化活動の支援
3 学びを支える経営の健全性・透明性の確保 ＜学びを「支える」＞	テーマ6：経営の健全性・透明性の確保

VI 6つのテーマで取り組む主な事業

テーマ1：生涯学習・地域づくり活動の総合的推進・支援

- (1) 生涯学習に係る情報提供・相談・調査研究の充実
- (2) 生涯学習公開講座の充実
- (3) 生活創造活動グループに対する支援の充実
- (4) 生涯学習関係機関職員研修の充実
- (5) ふるさとひょうご創生塾の充実

テーマ2：地域社会を支える高齢者の学びの支援

- (1) 高齢者大学事業の充実
 - ◆ ターゲットの見直し
 - ◆ 新ニーズに対応した学科、カリキュラム等の設定
 - ◆ 学習成果を地域社会で生かす橋渡し機能の強化
- (2) 高齢者放送大学事業の充実
- (3) 高齢者の交流・健康づくり活動の広域的展開・場の提供

テーマ3：未来を担う青少年の育成

- (1) 生きる力を育む体験教育の充実
- (2) ふるさと意識の醸成

テーマ4：生涯学習に関わる多様な主体との連携・交流

- (1) 大学等学校教育機関との連携
- (2) 公民館等市町関係機関との連携
- (3) 博物館等社会教育機関との連携
- (4) 自治会等各種地域団体との連携
- (5) 高齢者大学等関係組織との連携
- (6) 広域ネットワーク組織との連携
- (7) NPO、社会福祉協議会等地域活動団体との連携
- (8) 各施設の魅力を生かした地域住民との交流

テーマ5：地域団体等の参画と協働による地域文化活動の支援

- (1) 地域文化事業の充実
- (2) 文化会館等の特性を生かした利用促進

テーマ6：経営の健全性・透明性の確保

- (1) 自主財源等安定した収入の確保
- (2) 施設の改修による利便性等の向上
- (3) 職員の適正配置等による運営体制の整備
- (4) 協会事業の透明性確保・広報の充実
- (5) 経営目標(指標)の設定 [10項目]

Ⅶ 経営ビジョンの事業体系

〈将来像実現に向けた施設・部明別の具体的方策〉

アクションプラン

VI 6つのテーマで取り組む主な事業（取組方向等）

テーマ1 生涯学習・地域づくり活動の総合的推進・支援

あらゆる世代の県民自らが主体的に学び、その成果を実践に生かすことにより、生きがいを創造する活動を支援する。特に広域的・先導的観点から「情報提供・相談」、「調査研究」、「意識啓発」、「地域づくり活動支援」、「人材養成」等に取り組む。

(1) 生涯学習に係る情報提供・調査研究の充実

- ア ひょうごインターキャンパスの利便性向上
- イ 生涯学習推進アドバイザー派遣事業の拡充
- ウ 大学等との生涯学習に関する共同調査研究の実施

(2) あらゆる世代の生涯学習を支援する公開講座の充実

- ア 高度なカリキュラムによる新たな生涯学習公開講座等を開設し、現役世代を含むあらゆる世代を対象とする生涯学習の充実を図る。（国際問題、経済、音楽、スポーツ、新しいライフスタイル文化等）
- イ 新たな生涯学習公開講座を、単位制の短期講座の形式で開設する。（有償ボランティア等の就労ニーズに対応したキャリアアップ講座、体験型地域学講座、子育て世代向け実学講座等）

(3) 生涯学習関係職員の資質向上

生涯学習関係職員等の研修において、体系的な学習機会を提供するとともに、「ファシリテーション力」「コーディネート力」等のスキルアップに注力し、関係職員の資質向上を図る。

(4) ふるさとひょうご創生塾の充実

ふるさとひょうご創生塾の内容や塾生取組状況を効果的に情報発信し、地域団体や企業等においても地域づくり人材養成の場としての活用を促進する。また、創生塾の充実に向け、カリキュラムや受講料のあり方を検討する。

テーマ2 地域社会を支える高齢者の学びの支援

元気で現役意識の高い高齢者の増加に対応した高齢者大学講座のカリキュラム等の充実を図るとともに、学生自治会・同窓会や、各種団体・NPO等と連携し、学習成果を地域社会で生かす支援機能の充実を図る。

(1) ターゲットの見直し

- ア 60歳以上の入学資格を維持しつつ、60歳を超えて就業中の人も参加できるカリキュラムを設け、60歳前半の高齢者の入学を促進する。
- イ 大学院を地域のまちづくり人材養成の特別コースとし（阪神ひと・まち創造講座と同様）、入学資格要件（4年制卒業等）を撤廃すること等について検討する。

(2) 新たなニーズに対応したカリキュラム、学習方法等の設定

- ア 地域づくり活動等に取り組む高齢者の学習ニーズに対応するため、経済や文化等、社会参加に係る実践的・現代的な学びの充実を図る。
- イ 自治会やまちづくり協議会、集合住宅自治会の運営等のための短期講座の導入を進める。
- ウ 子育て世代との交流活動（「おじいちゃん先生・おばあちゃん先生」の養成・派遣等）を進める。

(3) 学習成果を地域社会で生かす橋渡し機能の強化

- ア ボランティアセンターやNPOと連携し、活動・活躍の場を見出すためのマッチング機能を強化する。
- イ 学生自治会、同窓会、クラブ・サークル等と連携し、活動団体・グループの育成を図る。

テーマ3 未来を担う青少年の育成

嬉野台生涯教育センターの事業・施設を活用して青少年の生きる力を育むとともに、文化会館等の施設やネットワークを活用して、地域の特色を生かしたふるさと意識の醸成に資する事業を展開する。

(1) 生きる力を育む野外活動・体験教育の充実

- ア ひょうご冒険教育（HAP）事業やうれしの台ユースセミナーの充実、自然学校の受入れ促進など、嬉野台生涯教育センター事業の一層の拡大を図り、利用者増を目指す。
- イ ひょうご冒険教育講習会、野外活動指導者養成講座、全県野外活動フォーラムなど野外活動・体験学習の指導者養成事業等リーダー養成事業の受講者拡大を図る。

(2) ふるさと意識の醸成

- ア 文化会館等をふるさとづくりの拠点施設として、地域学講座や、特色ある活動の展示・発表など地域の特色を生かした事業を展開し、ふるさと意識の醸成を図る。
- イ いなみ野学園等で学んだ人材を講師とする地域学講座を、高等学校における問題解決型学習の一環として開催し、若い世代のふるさと意識の醸成を図るとともに、世代間交流を促進する。

テーマ4 生涯学習に関わる多様な主体との連携・交流

生涯学習や地域づくり活動に対する多彩な県民ニーズに応えるため、多様な生涯学習関係機関、活動団体等とのネットワーク化や連携を進める。

- ア 大学等と連携し、公開講座、専門研修、施設活用及び世代間交流事業等を実施する。
- イ 公民館等市町関係機関と連携し、生涯学習講座の講師紹介、学習ニーズに係る情報交換等を行い、市町の生涯学習事業を支援する。
- ウ 博物館等社会教育機関と連携し、多様なニーズ対応、施設利用の促進、学習支援機能の充実を図る。
- エ 学校、自治会等各種地域団体と連携し、地域学校協働活動（見守り等学校支援活動、放課後子ども教室等）への参加を促進する。
- オ 高齢者大学の学生自治会や卒業生等で構成される団体並びに親睦組織など協会事業に起因する組織との連携を強化する。
- カ NPO等地域団体と連携し、ボランティア活動の情報提供、学習支援機能の充実を図る。
- キ 各施設の魅力を生かした地域住民との交流を促進する。（子ども陶芸教室、1日いなみ野保育所、うれしの世代間交流事業、そば打ち体験、郷土料理講座等）

テーマ5 地域団体等の参画と協働による地域文化活動の支援

文化会館等で展開してきた地域文化活動の振興、地域文化活動団体への支援を更に強化するなど、地域団体等の参画と協働による地域づくりを推進し、青少年の感性（想像力、表現力等）を育むとともに、住民のふるさと意識の醸成や居場所・交流の場づくりなどを進め、みんなで支え合う地域づくりにつなげていく。

(1) 地域文化活動の支援強化

住民の参画と協働による各地域の伝統芸能、文芸、スポーツ等地域文化の振興を図るイベントの開催等に加え、地域団体、NPO等のノウハウを活用した新たな地域文化活動の支援を進める。

(2) 文化会館等における地域文化の発信力強化

広域の地域文化拠点として、伝統文化の伝承をはじめ、地域の文化資源を生かした事業を、生活創造活動グループ、高齢者大学生・OBの団体、NPO等の参画と協働により展開し、地域文化の発信力を強化することにより、日常的・継続的にぎわいを創出し、利用促進を図る。

- （例）[嬉野台生涯教育センター]
北播磨人（きたはりまびと）意識醸成事業、北播磨冒険広場たまり場事業等
[但馬文教府]
但馬ふるさと芸術文化祭、みてやま親子ふれあいフェスタ等
[西播磨文化会館]
にしはりまキッズフェスティバル、播磨「歴史・地域学」講座等
[淡路文化会館]
日本遺産認定記念国生みの島フェスティバル、日本遺産認定記念セミナー等

テーマ6 経営の健全性・透明性の確保

今後とも、県民の生涯にわたる学びを先導する生涯学習事業を、県民の信頼を得ながら、安定的、持続的に進めていくため、引き続き選択と集中の徹底、コスト削減に取り組むとともに、安定財源の確保を図るなど、経営の健全性・透明性の確保に努める。

(1) 自主財源等安定した収入の確保

高齢者大学等主要事業を安定的に実施するため、受講料等自主財源の確保を図る。

- ア 高齢者大学入学者の確保（魅力的なカリキュラムの設定、口コミによる周知等）
- イ 適正な受益者負担の徴収
- ウ 高齢者手づくりの店、高齢者陶芸の村、高齢者園芸センターの収益の確保
- エ 卒業生、法人等からの寄附の拡大（寄附受納の仕組みの整備、ホームページのバナー広告等）
- オ 外部資金等の導入（国、独立行政法人、民間企業等による助成制度の積極的活用）

(2) 施設の改修による利便性等の向上（中期的な全体計画による計画的な施設改修の実施）

(3) 職員の適正配置等による運営体制の整備

(4) 協会事業の透明性確保・広報の充実（協会事業の見える化、マスメディアとの連携）

(5) 経営目標（指標）の設定 [10項目]

- ・高齢者大学等在学者数：5,420人以上（県設定）[H28:5,004人]（丹波を除く。）
- ・高齢者大学卒業生・修了者数：毎年840人 [H28:713]（丹波を除く。）
- ・文化会館等利用者数：年390,000人以上 [H28:358,486人] 等

Ⅶ 経営ビジョンの事業体系（新規、拡充事業の概要）～将来像実現に向けた施設・部門別の具体的方策～



アクションプラン

(1)目指すべき姿、(2)今後の事業の方向性（新規、拡充の事業）
★；文化会館等活性化事業（大学、民間団体等との連携により実施）
拡充事業；県民ニーズを踏まえ、質的・量的充実を図る。

いなみ野学園

(1) シニア生活を応援する“いなみ野元気スタイル”

(2) いなみ野セカンドライフ公開講座【新規；テーマ1】

定年退職が近い就労者や子育て等への専念が軽減された年代等を対象とした公開講座を企業や団体との共催により展開。

講座のテーマは、在園生ニーズ調査や有識者等の意見を踏まえ、医療や福祉、歴史・地理、健康・スポーツなどから選定。

施設を活用した陶芸教室・園芸教室の開催【新規；テーマ4】

子育て等が一段落した年代向けの日曜陶芸教室、都市住民向けのプランター栽培から庭木剪定までの園芸教室を有料で開催。

同窓研修会と連携した子育て応援事業の実施【新規；テーマ4】

同窓研修会を高年齢者大学卒業生の生涯学習機関と位置づけ、研究生の講師紹介、地域と連携した子育て応援事業等の実施。

ケーブルテレビ番組による情報提供【新規；テーマ6】

ケーブルテレビで放映する大学院講座学生の自主制作番組「いなみ野学園情報」への応援を通じた学園行事等の情報発信。

拡充事業 いなみ野学園大学講座、いなみ野学園大学院講座、聴講生制度、研究生制度、学園運営サポーター、地域活動支援センター、東加古川文教施設連携構想、シニア向け情報提供番組、オープンキャンパス

阪神シニアカレッジ

(1) 阪神シニアカレッジはいつだって、明日への“ときめき”を忘れない！

(2) 老若交流公開講座【新規；テーマ1、テーマ4】

甲子園大学と連携した老若交流公開講座を開催。

学舎統合による魅力の向上【新規；テーマ2】

学舎統合による住民等との交流活性化、屋上農園を活用したフランス式家庭菜園の導入等による魅力向上、入学希望者の増加。

グループ活動に資する汎用データベース構築【新規；テーマ2】

阪神ひと・まち創造講座における学生生活グループ支援のための汎用データベース（助成制度等）の構築。

まちづくりリレー講座【新規；テーマ2】

地域活動支援センターを核に県内を巡回する、学生生活グループ主導のまちづくりリレー講座の開催。

オープンキャンパスの常時開設【新規；テーマ6】

新校舎の交流スペース部分を常時オープンキャンパスとするとともに、文化祭等のイベントへの住民参加の呼びかけ。

拡充事業 阪神シニアカレッジ大学講座、聴講生制度、兵庫県高齢者学習研究協議会・学ぶ高齢者のつどい、甲子園大学との連携、県内文化施設との連携(あいカード)、ホームページの運営

ひょうごラジオカレッジ

(1) 『学び続ける人』は輝いている

(2) 拡充事業 ラジカレ友の会

嬉野台生涯教育センター

(1) 一生涯、学ぶ心は嬉野台！

(2) 北播磨人（きたはりまびと）意識醸成事業【新規；テーマ3】★
“ふるさと意識”の醸成と地域外への北播磨のPRに資するよう、「北播磨ふるさと発見連続講座」を開催。講座内容をまとめた「北播磨学読本」を作成し、学校、企業等に配付し広く情報発信。

北播磨冒険広場たまり場事業【新規；テーマ4】★

北播磨地域内外の人達の体験・交流による地域のにぎわいづくりのため、体験者の熟度に応じた多様なコースを設定し、県下唯一の施設であるHAP（ひょうご冒険教育）施設を広く開放。

拡充事業 うれしの春のフェスティバル、うれしの学園生涯大学大学院、うれしの台ユースセミナー

但馬文教府

(1) 来んさい 見んさい 使いんさい 文教府

(2) みてやま朝市【新規；テーマ1】★

みてやま学園学生や生活創造グループ等利用団体の活動を支援し、地域住民との交流促進を目的とする朝市を開催。

科学チャレンジ in 但馬文教府【新規；テーマ3】★

文教府の先導的取組みやネットワークを活かし、団体、教育機関等との連携により、未来の但馬の担い手である子どもたちを育成。

みてやま親子ふれあいフェスタ【新規；テーマ3】★

幼児や保護者を対象に、県立こどもの館、豊岡短期大学等との連携による遊び体験や育児指導等の親子イベントを開催。

但馬ふるさと芸術文化祭【新規；テーマ5】★

芸術文化団体や関係者とのネットワークを活かし、活動成果の発表や、地域の芸術文化の振興を図る芸術文化祭を開催。

拡充事業 「但馬文庫」の運営、但馬文教府みてやま学園、但馬文教府みてやま学園大学院、豊岡短期大学との連携、文教府ギャラリー

西播磨文化会館

(1) Welcome 西播磨文化会館 ～四季のあじわい、豊かな学びと活動の拠点～

(2) にしはりまキッズフェスティバル【新規；テーマ3】★

文化団体と連携し、中・西播磨地域で文化活動（日本舞踊・伝統芸能等）を行う子どもの日常成果発表の機会を設定。

西播磨ふるさと文化祭【新規；テーマ5】★

西播磨県民局、西播磨青少年本部と連携し、子どもから高齢者まで展示・出店・発表等で参加できる大規模イベントを開催。

播磨「歴史・地域学」講座【新規；テーマ5】★

地元への愛着・ふるさと意識の向上のため、中・西播磨地域の歴史・文化・産業などを学ぶ講座を開催。

ゆうゆうの森音楽フェスティバル【新規；テーマ5】★

西播磨地域の文化振興と、施設の利用促進を図るため、幅広いジャンル、世代を巻き込んだ音楽会を地域団体との協働で開催。

拡充事業 生活創造活動グループの育成支援

淡路文化会館

(1) 国生みの島の宝を活かし、新たな価値を生み出す学びの場

(2) 日本遺産認定記念セミナー【新規；テーマ1】★

日本遺産認定を機に、淡路島の地域資源について学ぶ一般県民向けの地域公開講座を実施し、地域づくりへの意識醸成を図る。

文化・教養・スポーツに関する入門講座【新規；テーマ5】★

市の公民館では取り組みにくいラフターヨガ、ニュースポーツ等の新たな文化・教養・スポーツ等に関する入門講座を開設。

拡充事業 生活創造活動グループ交流会、日本遺産認定記念国生みの島フェスティバル

ふるさとひょうご創生塾

(1) 人と人、地域の絆(ふるさと)創り人

(2) 拡充事業 ふるさとひょうご創生塾(多世代の入塾促進、受講料の見直し等)

協会事務局総務部

(1) 攻める経営、守る経営で現場を支える。

(2) 高齢者園芸センターサポーターの設置【新規；テーマ2】

貸農園利用者への指導助言や作物の生産販売を行うサポーターを設置し、卒業生の学びを生かす実践農場として活用。

いなみ野キャンパスの一般開放【新規；テーマ6】

休日に一般利用ができる料金設定や体制整備を行い、キャンパスの有効活用・利用促進を図る。

中長期的な職員体制の構築【新規；テーマ6】

中長期的な視点での施設管理やデータ管理に対応できるよう職員体制を整備。新学舎の供用開始に合わせ、阪神シニアカレッジの適正な職員体制を確保。

拡充事業 みどりのサポーター、施設管理、高齢者園芸センター、高齢者陶芸の村及び高齢者手づくりの店の運営、生きがい創造協会のPR

協会事務局生涯学習部

(1) 楽しさ∞(無限大)。あなたの知的好奇心を満たします。

(2) 拡充事業 ひょうごインターキャンパス、生涯学習リーダーバンク、生涯学習公開講座、社会教育関係職員研修、兵庫大学・兵庫教育大学等との連携、東加古川文教施設連携構想、関西シニア大学校交流事業、入学者募集強化本部